

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 合同会社プロード様マンション	階数	地上10F
建設地	兵庫県姫路市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年9月28日
敷地面積	752 m ²	作成者	
建築面積	340 m ²	確認日	
延床面積	2,770 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 96%

③上記+②以外の 96%

④上記+ 96%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.0
Q2 サービス性能: 2.9
Q3 室外環境(敷地内): 2.2
LR1 エネルギー: 3.5
LR2 資源・マテリアル: 3.9
LR3 敷地外環境: 2.5

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.5

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
1階テナントと住宅部分の動線は、明確に分ける。	特になし。	
Q1 室内環境 住宅部分の開口部は遮音等級T-1を確保する。	Q2 サービス性能 バリアフリー新法の建物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている。	Q3 室外環境(敷地内) 建物を南側道路境界よりセットバックさせ、圧迫感のないように配慮する。
LR1 エネルギー 住宅部分は省エネH28年度基準で基準値をクリアしている。	LR2 資源・マテリアル 躯体材料以外のリサイクル材の使用や、有害物質を含まない材料を使用する。	LR3 敷地外環境 遵守しなければいけない法規則を守り、地球温暖化へ配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される